

関係者各位

令和2年6月29日
ミッドリーム日本語学校
校長 山田 貴彦

7月からの対面授業開始について

本校では、「緊急事態宣言の解除」、「都立高校の分散登校開始」、「出入国在留管理庁がオンライン授業は緊急的な措置して認めるとしていること」の3点を踏まえ、6月より分散登校を続けてきました。幸いにも関係者から感染者も出ず、ここまで無事に学校運営をすることができました。ひとえに、学生と教職員、並びに関係者の皆様のご理解とご協力があったからこそと心より感謝しております。

さて、都立高校では6月29日(月)から全面的に対面授業を再開しました。本校でもこの決定を受け、7月14日(火)から開始する授業を全面的に対面授業にしたいと考えております。ただし、新型コロナウイルスの感染状況等によっては予定を変更する可能性があります。この予定の最終決定につきましては、授業開始1週間前の7月7日(火)までに行いたいと考えております。

また、対面授業再開時の概要と感染防止策案は以下のように考えております。

1. 授業は下記の時間帯に実施します。

午前クラス 9:00～12:20

午後クラス 13:25～16:45

2. 新型コロナウイルス感染症への感染防止策を下記のように実施します。

- ①消毒スプレーを校舎各所に設置する。
- ②1日に2回、授業の前に消毒スプレーで廊下や教室の除菌を行う。
- ③休み時間は教室窓を開放し、換気を十分に行う。
- ④教室内でのマスク、またはフェイスシールドの着用を推奨するが、熱中症にならないよう、適宜外すことも認める。
- ⑤開門を6:30、閉門を19:20とすることで、通学・通勤時のラッシュをさけて登校できる環境を提供する。
- ⑥1クラスの学生数を調整し、通常時より人と人との間隔を空ける。
通常時の教室における学生1人あたりの占有面積 1.5 m² → 新基準 2.0 m²以上を確保
- ⑦感染者が出た場合、その感染者が出た棟の全て授業を一時休講とし、対応方法を保健所等に仰ぐ。その際は、該当クラスのオンライン授業再開も視野に入れる。

3. 再び、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大した場合は対面授業を中止し、オンライン授業を行います。

以上